

世界的太鼓ドラマーヒダノ修一が監修するグループ「スー」 音楽の枠を超え、圧倒的で超一流のエンタメ

からだ
全身で感じる
超絶パフォーマンス



主な出演者

※構成・演出等の都合により、メンバーについては変更になる場合がございます。ご了承下さい。

太鼓、プロデュース

世界一の太鼓演奏技術を持つヒダノ修一



ヒダノ修一

《主な活動歴など》サッカーワールドカップのFIFA公式の式典出演及びパラリンピック東京大会2020開催に向けた「パラフェス2016」のメイン奏者など国際的な評価が高い世界一の太鼓演奏者です。世界のトップアーティストスティーヴィー・ワンダーのアジアツアーへの参加経験もあり、トップミュージシャンとして日々活動する傍ら、音楽の教科書の編集・執筆を担当し、作曲・編曲などの自作曲への創作活動も行っています。神奈川文化未来賞、横浜文化奨励賞ほか多数受賞。近年では、2022年Netflix「ONI」太鼓録音に参加し、世界最高峰の「エミー賞」を受賞。

太鼓、ダンス

いま太鼓界で最も注目されて
太鼓アーティスト



一
彩

《主な活動歴など》17歳でプロデビュー、世界15ヵ国で公演、一流のバックダンサーなども経験。2011年には、NHK紅白歌合戦にも出演。クローバーZのスタジアム公演に参加するなど若手実力派太鼓奏者として注目を集める。2017年公開の菅田将暉主演の映画【帝一の國】にて、劇中の「江戸」シーンの作曲・振付・指導を担当し、和太鼓彩のメンバーとして出演も。